マリノス

＝《②》＝

・マリノスに〝孝行息子〟が相次ぎ誕生した。中でもソラリ監督の秘蔵っ子と言われているのがMF・寺川能人（よしと）とFW・古賀正人（まさと）。ともに昨年まではJリーグ出場がなかったが、今季は主力出場でチームのリズムを変える貴重な働きをしていた。すっかりマリノスの新しい顔となったが、二人とも目指すはギュラー取り。マリノスにいやJリーグに新風を吹き込め！

ソラリ監督の秘蔵っ子 寺川

長い髪がトレードマークのMF・寺川。運動量とパスワークでレギュラーを目指す

古賀

W・古賀

田戦では絶妙のFK 光るパスワーク

スーパーサブとして「三人一緒とは正直言ってびっくりした。でも、交代で入る時もいつもソラリ監督から特別な指示はない。自分のったが、こうして結果が出れば周囲の目も変わる。「中盤の選手ですから運動量とパスワークでアピールしたい。

の栄（さい）配がズバリと当たって寺川のドリブル突破からFKのチャンスをつかみ、寺川のキックをゴール正面から小村が決めて2―1で勝った。ソラリマジックを象徴する試合だったが、そのキーマンが寺川だった。

しかし、中学にはサッカー部がなかったために週五日、片道一時間かけて市内のエリートが集まる名門・神戸FCに通った。勝負よりも個人技を重視するチームカラーでメキメキ腕を上げ〝ラモスのニックネームを付けられたほどだった。滝川二高では二年、三年と高校総体に出場、二年の時に八強まで進んだが高校選手権には出場できなかった。

そんなこともあって、卒業後は大体大進学を決めていたが、突然マリノスから誘いがかかった。「ずいぶん迷いました。でも、両親も自分で決めろと言ってくれたこと最後

思い切りのいいシュートが 平塚戦で決勝ゴール

ソラリ監督のもう一枚の切り札が古賀だ。法大からマリノス入りして三年目だが、スピードに乗ったドリブルと思い切りのいいシュートは大きな武器。十五日の平塚戦でマリノスは1―0とリードしたものの平塚の猛反撃に苦しんでいたが、後半41分に三浦に代わって古賀が出場、1分後に追加点を決めこれが決勝ゴールとなった。うれしいJリーグ初ゴール。「こぼれ球が来ると思っていたが……。思い切って蹴（け）りました」と古賀はテレ

と）一九七〇年（昭和四十五年）五月二十二日、静岡県生まれ。水商では三浦文之と高校生ホープ。1m70、60kg。血液型B型。

◆古賀　正人（こが・まさと）一九七〇年（昭和四十五年）五月二十二日、静岡県生まれ。水商では三浦文之と高校生ホープ。1m70、60kg。血液型B型。

特製の楯を3人にプレゼント

マリノス・サポーターのあなたにビッグなプレゼント。ソラリ監督以下マリノス・イレブンの名が刻まれた特製の楯（たて）を、お部クセサリーには横浜今回は日産FCの練人にプレゼントしま希望の方は住所、氏名、電話番号、フト名を明記し〒91、東京便局私書箱号、スポーツン新聞社運動GOOマリノゼント係へ日の消印まで

マリノス情報

◆五　のみな

に今年も横浜マリノスのフロートす。「ビクトリー・プラネット」けられた楽しいものです。

◆横浜高島屋のカテゴリー・リノス・コーナーが誕生た。毎月二人のマリノスが思い出の品を展示、その選手のサインズが当たります。10原と松田、五月は三野、六月は松永と吉しいことはお店で。

◆寺川　能人（てらかわ・よしと）一九七（昭和四十九年）九日、兵庫県生まれ。二から二昨年マリり。家族は両親と兄。1m74、62kg。血液型。